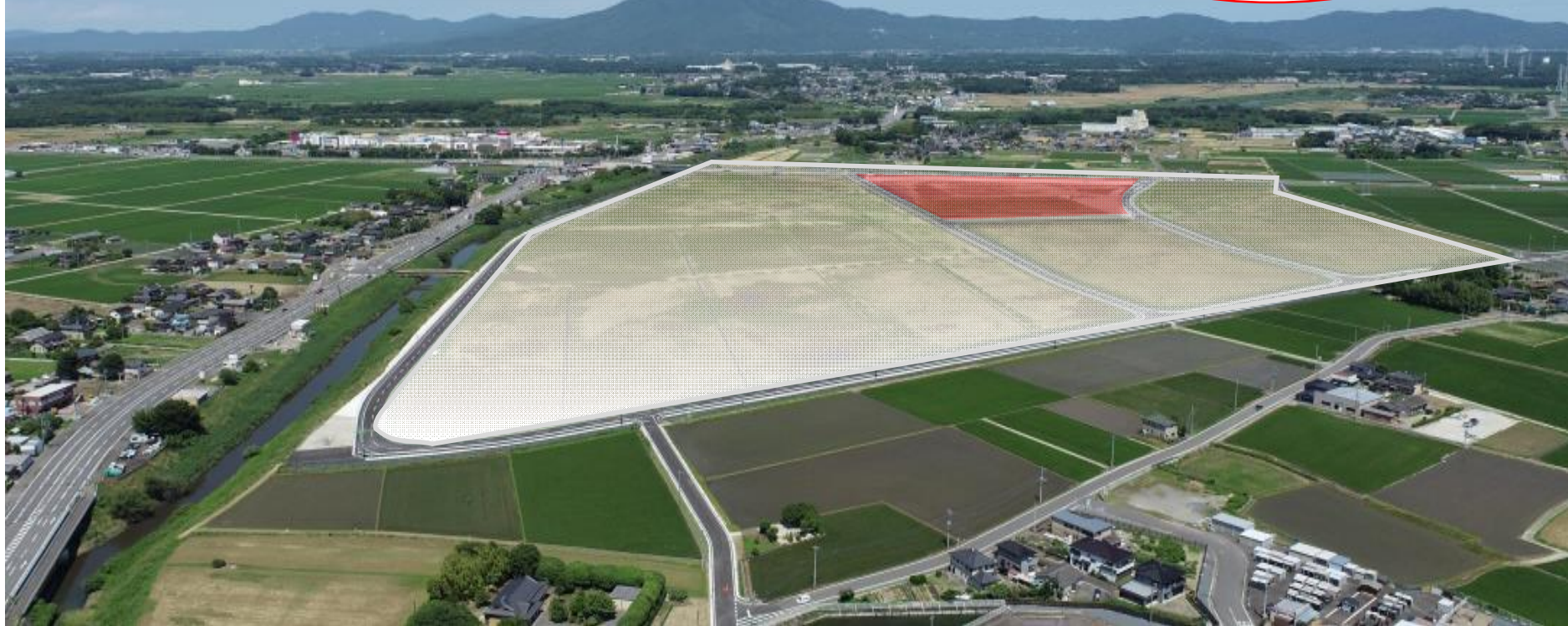


【茨城県下妻市】

しもつま中央工業団地

緑地・調整池利活用事業のご紹介

令和8年度中
寄附募集開始予定



「下妻物語」の舞台となったまちです。

- ◆ 人口 約41,000人
- ◆ 主要首都圏へのマルチアクセスが魅力
 - ・ 圏央道常総I.C.まで車で15分
 - ・ 都内まで電車・車で1時間半
- ◆ 特産品：梨・米・豚・きゅうりなど

下妻市
の紹介



前例のない地方創生事業に挑戦します！！

現状
の課題

地域の現状と課題

- ・人口減少
- ・若年層の転出超過
- ・働く場、魅力的な住まいの選択肢が少ない

これまでの取り組み

- ・製造業にこだわった企業誘致

👉 **多くの優良企業の誘致に成功**

【企業誘致の効果】

人口動態社会増、税収増、大手ビジネス
ホテルの立地など

これからの課題

- ・企業誘致効果を市民へ還元
- ・企業誘致効果を移住・定住に繋げる
- ・20代から30代の転出抑制、転入増加策

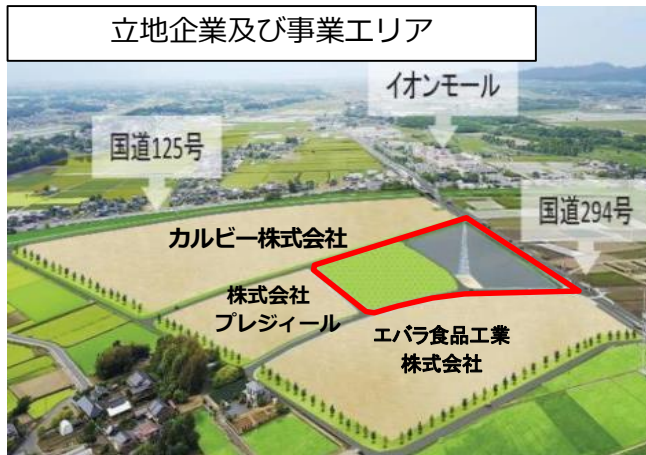


企業誘致効果の市民還元と移住・定住の促進

1. 市民の暮らしを豊かに
2. “関係人口”の拡大
3. **“ここにしかない”魅力的な施設整備**

事業の
目的

企業誘致実績（下妻市の強み）を活かした「企業連携型の誘客・交流施設の整備」
により、市民の暮らしを豊かにし、関係人口の拡大と移住・定住の促進を図る



【事業地】

しもつま中央工業団地内緑地・調整池

【事業エリア面積】

5.11ha（緑地1.86ha + 調整池3.25ha）

【事業主体】

一般財団法人下妻市開発公社

👉 民間企業様への柔軟な対応が可能。

【特徴】

① アクセスの良さ

圏央道常総 I.C. から車で約15分と好アクセス

② 視認性の高さ

国道125号と国道294号が交差する高い視認性

③ 食品系企業3社の立地

カルビー株式会社、株式会社プレジール、エバラ食品工業株式会社の食品系企業3社の立地が決定

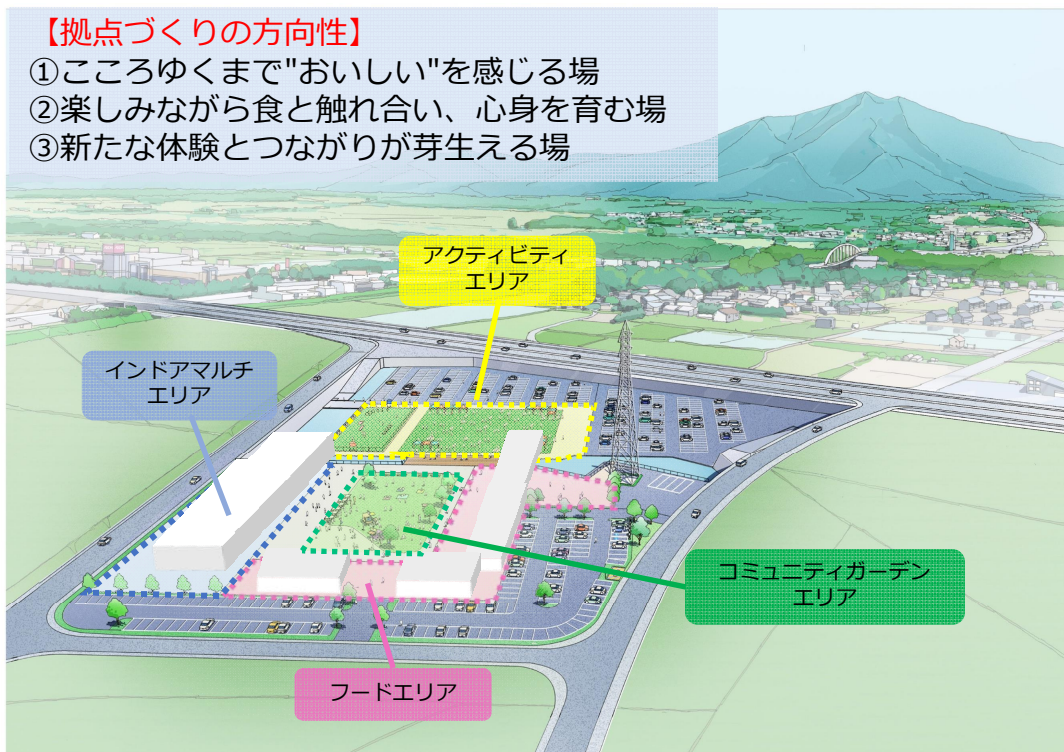
事業ビジョン

下妻発

「ここでしか味わえない体験」を生み出す 五感で楽しむ食の拠点を創造する。

【拠点づくりの方向性】

- ①こころゆくまで"おいしい"を感じる場
- ②楽しみながら食と触れ合い、心身を育む場
- ③新たな体験とつながりが芽生える場



【事業の核となるテーマ】



1.食



2.健康

【コンテンツイメージ】

1. 食分野

- ・企業体験
- ・収穫体験
- ・ローカルフードショップ

2. 健康分野

- ・食育授業
- ・フィットネス
- ・ニュースポーツ

事業スケジュールと推進体制



事業
内容

連携企業イメージ

立地企業

参画企業

出展事業者

事業パートナー
選定

※公募により
事業パートナー
選定

事業パートナー

【事業パートナーの役割】

- ・コンテンツ・サービスの企画、提案
- ・運営スキームの検討
- ・実証実験イベントへの参加 など



ヒアリング等
実施

下妻市開発公社

👉事業のポイント

事業パートナーとなる企業を**基本計画策定後に選定し**、設計段階から運営を意識した施設整備計画を共に検討していきます。

寄附を
する
メリット
等

- ・ 新たな地方創生モデルへの参画
- ・ 企業間の事業連携の可能性
- ・ 企業価値・ブランド価値の向上
- ・ 感謝状の贈呈
- ・ 市公式HPに企業名を掲載 など

👉 寄附によるご支援に加え、この事業に参画・協力していただける企業様を探しています。

お問い合わせ先

下妻市市長公室企画課経営戦略室

T E L : 0296-43-8367

E-mail : keieisenryaku@city.shimotsuma.lg.jp

【しもつま中央工業団地緑地・調整池利活用事業基本構想は下記URLからご覧いただけます。】

https://www.shimotsuma-kaihatsu.jp/news/file/news16_1.pdf

しもつま中央工業団地 緑地・調整池利活用事業

私たちが目指すのは、単なる施設整備ではありません。
食、健康を通じて、人と企業、地域がつながり、新たな価値を生み出す「共創の場」を創ることです。

この挑戦は、行政だけでは実現できません。
地域の未来を描き、熱い想いを持って、ともに挑戦していただける企業の皆様を、
事業パートナーとしてお待ちしております。

下妻から、全国のモデルとなる地方創生をともに創りましょう。

